

県新人研修会の審判について

1. 研修会として

生徒の研修会としてだけでなく、顧問・指導者の大会運営に関する研修会としてのねらいは継続する。チームとして試合を行うだけでなく、審判にもかかわり、ルールや審判法を研修していただく。審判の研修方法は、資料を基に実技(試合)を行っていただく。原則、各会場に1名のコントローラーを派遣し、ミーティング等で助言・指導を受け、研修をする。

2. 審判の行い方（感染症対策も含む）

【ファーストレフェリー（主審）・セカンドレフェリー（副審）】

- ① 試合前後に握手は行わない（その場で一礼）。トスは選手との距離を保ち、短時間で行う。
- ② 生徒役員や他の役員とも十分距離（できるだけ2m以上）を保ち、大きな声や対面での会話をしない。
- ③ 主審・副審は顧問が担当し、通常のホイッスルまたは電子ホイッスルを使用する。マスクは着用する。通常のホイッスルを使用する場合は、マスクの中で使用する。ホイッスルカバーのみの使用はしない。使用前後は消毒を行う。
- ④ 試合中のボール交換は、副審がボールを受け取り、副審が交換する。ボールを拭くのも副審が行う。会場または専門部でタオル等を用意する。
- ⑤ タイムアウトやセット間には、手指消毒をおこなう。特に副審はボールに触れることもあるので、こまめに手指消毒をする。

【スコアラー・アシスタントスコアラー】

- ① 会話をすることがあるので、マスクを着用する。可能な限り距離を離して座る。
- ② 物品（筆記用具）の共用はしない。サイン採取時は、各自が用意したペンを使用する。

【ラインジャッジ】【点示】

- ① マスクを着用する。
- ② フラッグは、各校で持参する。また、使用前後に消毒をする。試合前後に消毒を行う。
- ③ 点示の椅子（得点板の椅子）は用意する。試合前後で得点板・椅子ともに消毒をする。

3. 審判の割り当てについて

- ① 1日目については、ほぼすべてのチームに一度は審判を担当していただきます。審判割りについては原則、以下の通りでお願いします。

第1試合：第2試合の両チーム

第2試合：第1試合の負けチーム（主審・副審は第1試合の両チーム）

第3試合：第2試合の負けチーム（主審・副審は第2試合の負け・第1試合の負けチーム）

第4試合：両コート第3試合の負けチーム

- ② 1日目については、各会場に原則1名をコントローラーとして派遣する。各試合の前後で助言・指導を受けて研修とする。主審・副審は原則参加チームで運営する。2日目については、生徒役員の派遣はせず、最小限の人数で審判員を派遣する。状況によっては、参加チームで審判を行う。